

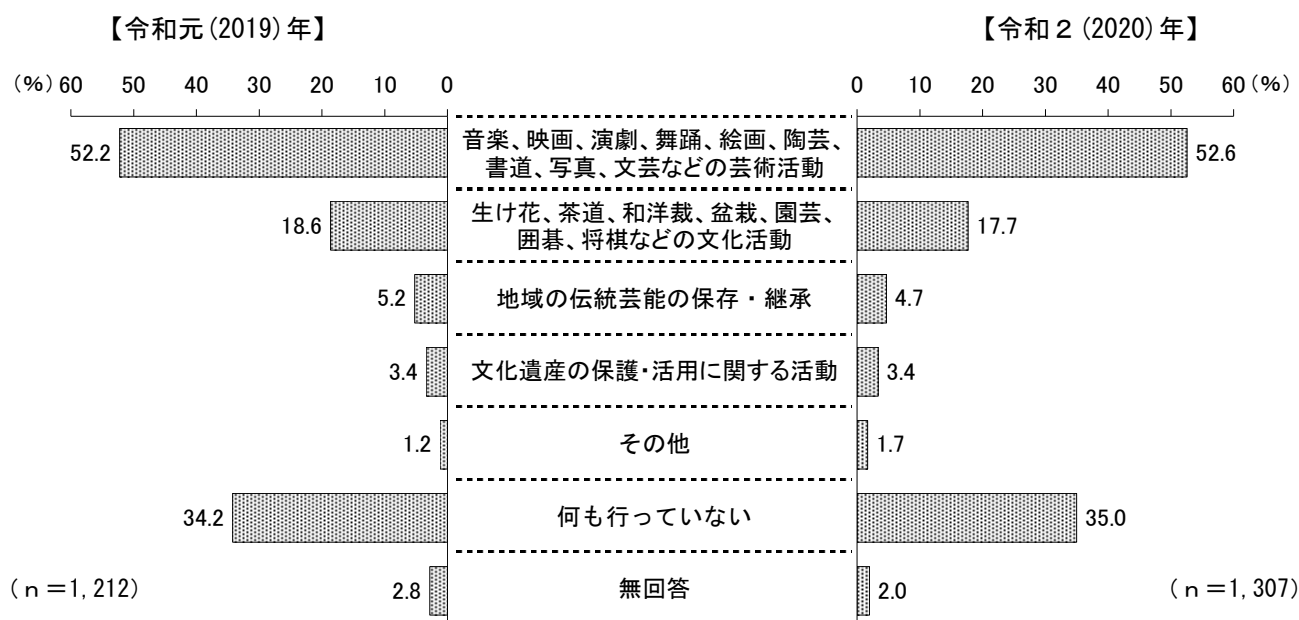
### 3 日常生活について

#### (1) 文化・芸術活動について

問6 あなたが日ごろ行っている文化・芸術活動（鑑賞を含む）は、どのようなものですか。  
次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,307]

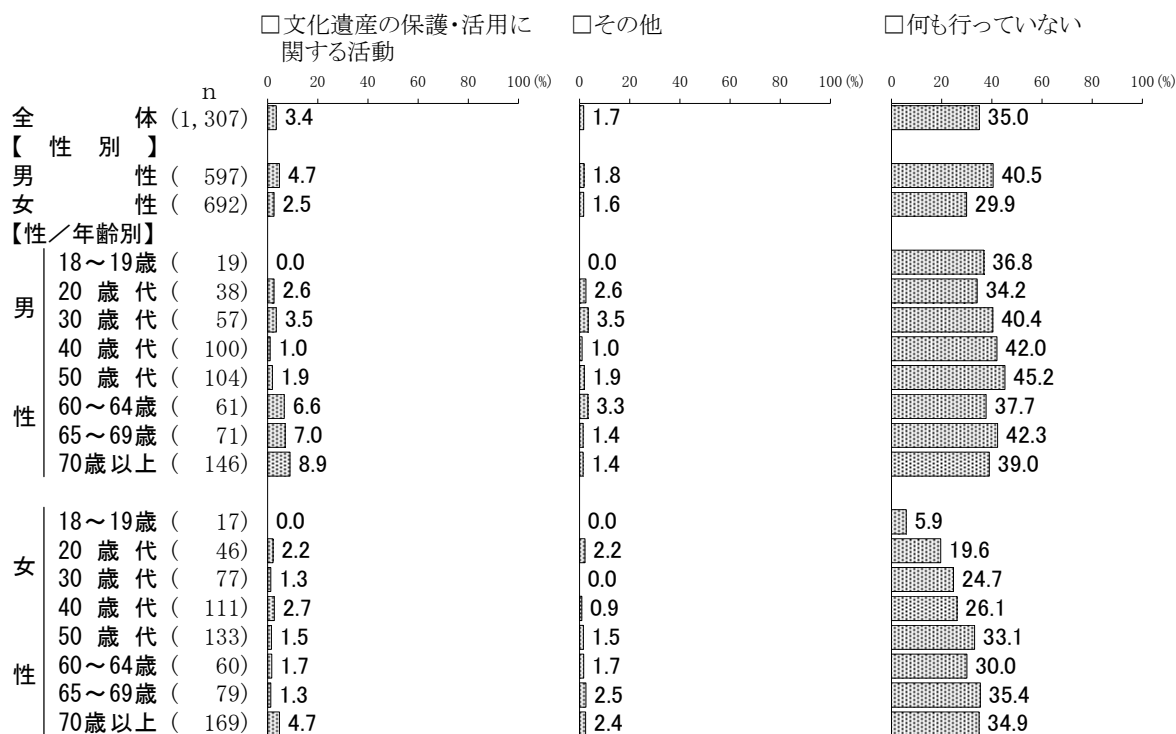
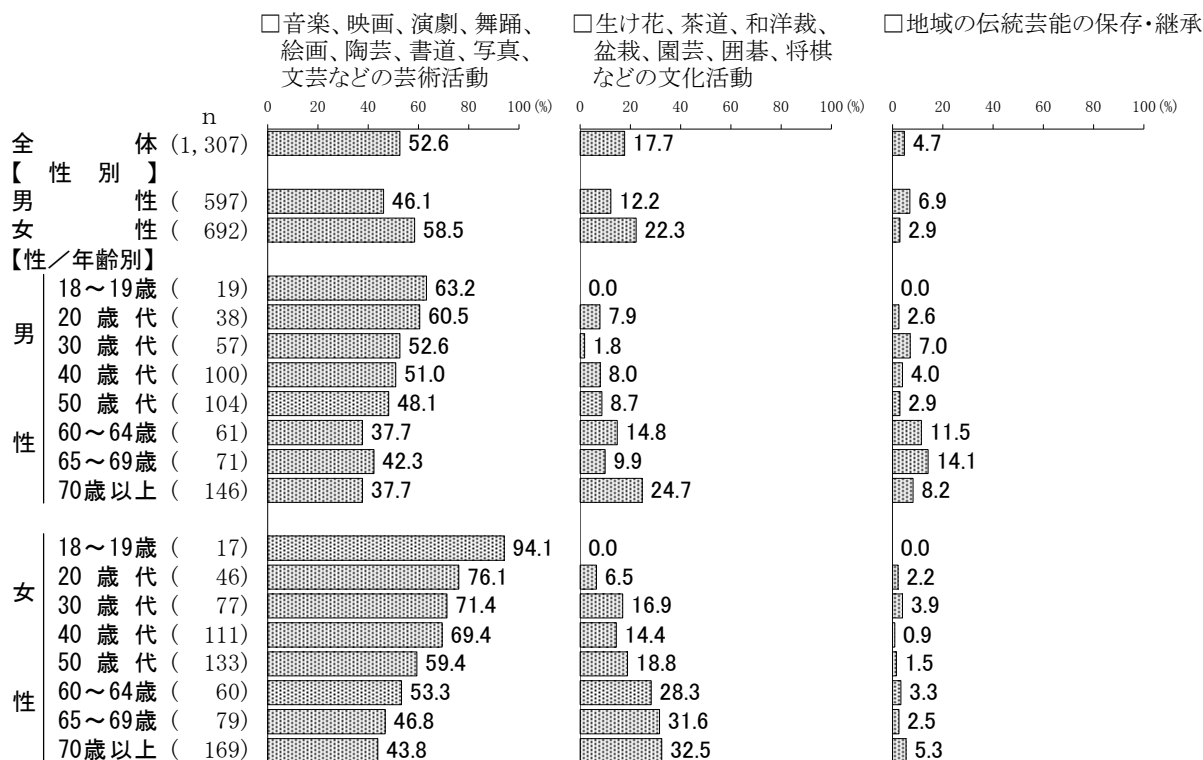
1	音楽、映画、演劇、舞踊、絵画、陶芸、書道、写真、文芸などの芸術活動	52.6%
2	生け花、茶道、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動	17.7
3	地域の伝統芸能の保存・継承	4.7
4	文化遺産の保護・活用に関する活動	3.4
5	その他	1.7
6	何も行っていない	35.0
	(無回答)	2.0



全体で見ると、「音楽、映画、演劇、舞踊、絵画、陶芸、書道、写真、文芸などの芸術活動（以下『芸術活動』という。）」(52.6%)が5割を超えて最も高く、次いで「生け花、茶道、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動（以下『文化活動』という。）」(17.7%)が2割近くとなっている。一方、「何も行っていない」(35.0%)が3割半ばとなっている。

令和元(2019)年の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

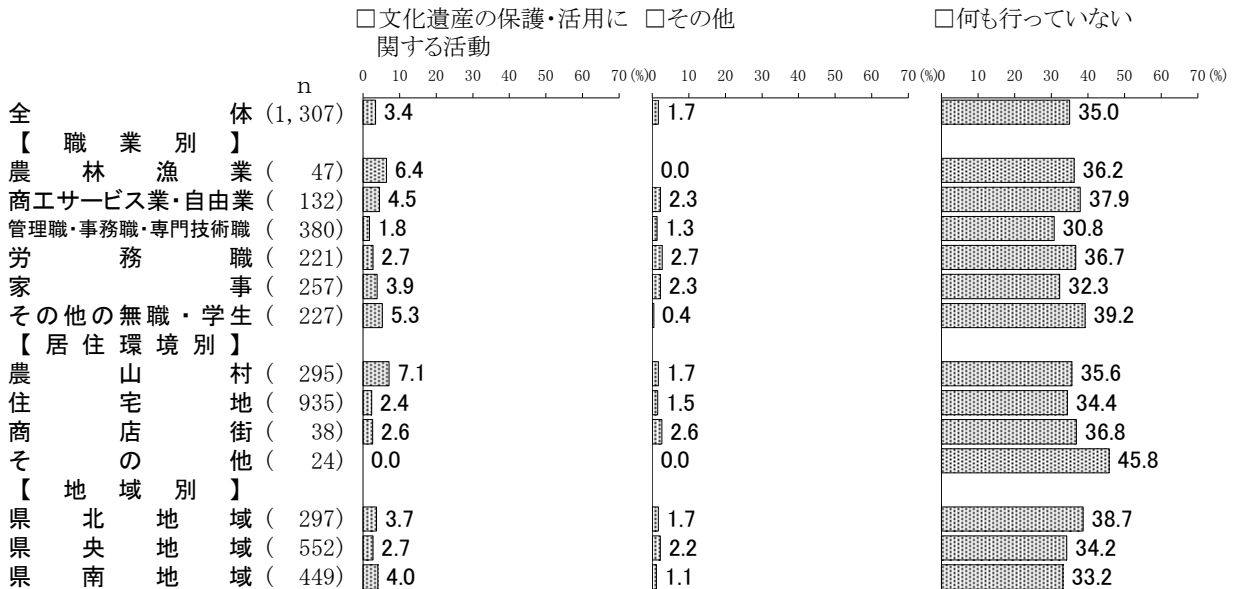
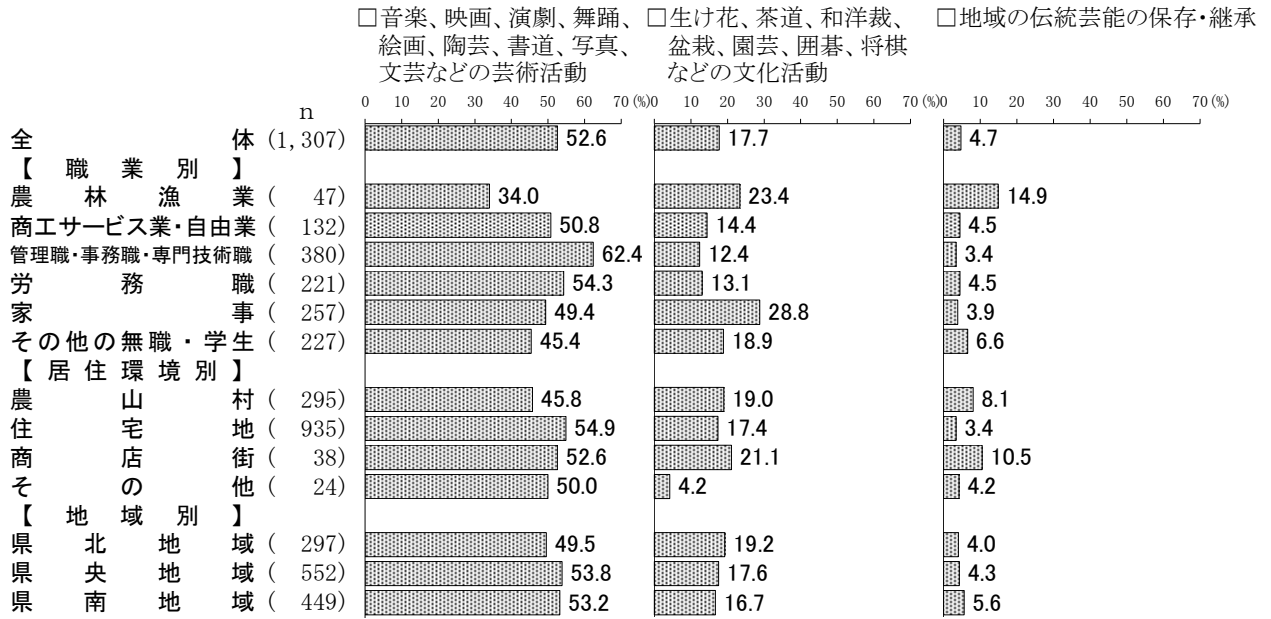
[性別・性／年齢別]



性別でみると、『芸術活動』では〈女性〉(58.5%)が〈男性〉(46.1%)より12.4ポイント高くなっている。『文化活動』では〈女性〉(22.3%)が〈男性〉(12.2%)より10.1ポイント高くなっている。「何も行ってない」では〈男性〉(40.5%)が〈女性〉(29.9%)より10.6ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『芸術活動』では〈女性20歳代〉が76.1%、〈女性30歳代〉が71.4%、〈女性40歳代〉が69.4%と高くなっている。『文化活動』では〈女性70歳以上〉が32.5%、〈女性65～69歳〉が31.6%、〈女性60～64歳〉が28.3%と高くなっている。「何も行ってない」では〈男性50歳代〉が45.2%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、『芸術活動』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が62.4%と高くなっている。『文化活動』では〈家事〉が28.8%と高くなっている。「地域の伝統芸能の保存・継承」では〈農林漁業〉が14.9%となっている。

居住環境別でみると、『芸術活動』では〈住宅地〉が54.9%と高くなっている。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

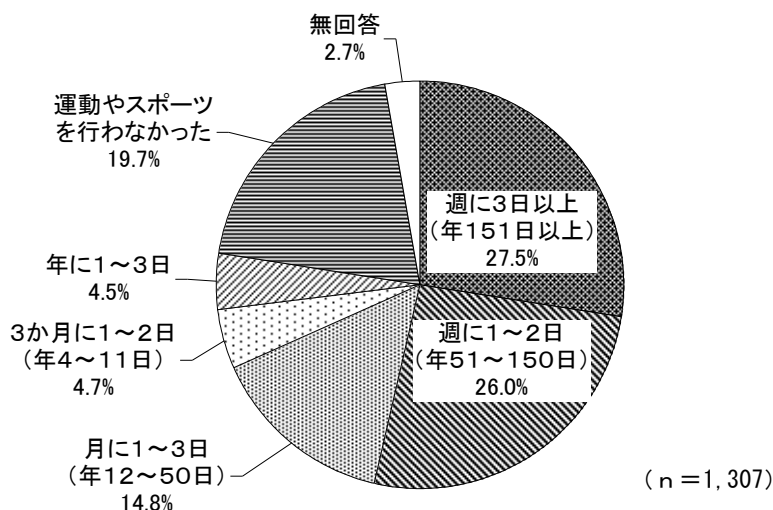
## (2) スポーツ活動について

問7 あなたは、この1年間にどの程度運動やスポーツ(※)を行いましたか。次の中から1つ選んでください。

※ 運動やスポーツには、ウォーキング(散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなど)、階段昇降(2アップ3ダウンなど)、ジョギング、水泳、体操(ラジオ体操、エアロビクスなど)、室内運動器具を使ってする運動、レクリエーションスポーツ(フライングディスク、スポーツチャンバラなど)、ゲートボール、登山、ゴルフ、釣り、サイクリングのほか、子どもとの体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすことなどを含みます。

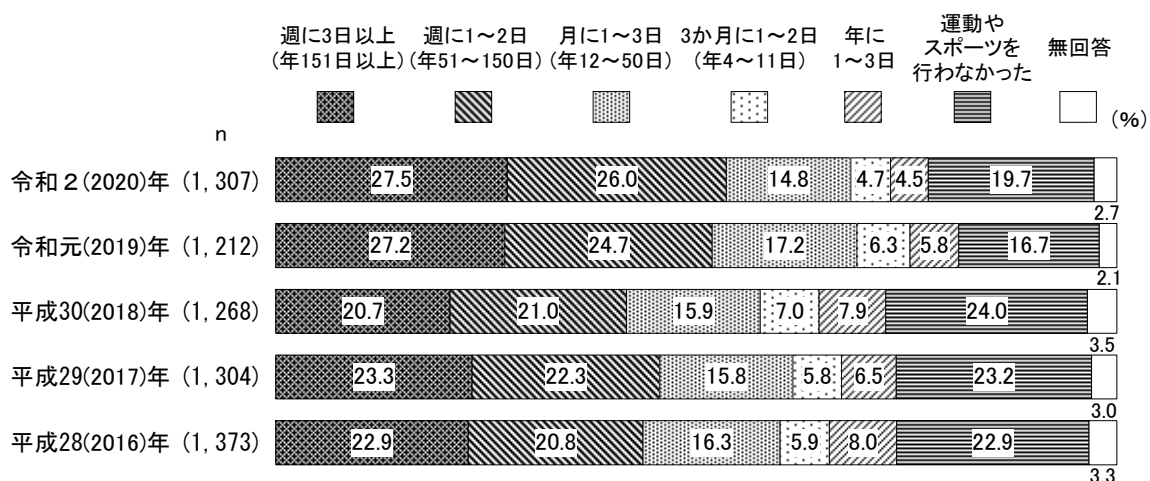
[n=1,307]

1 週に3日以上(年151日以上)	27.5%	4 3か月に1~2日(年4~11日)	4.7%
2 週に1~2日(年51~150日)	26.0%	5 年に1~3日	4.5%
3 月に1~3日(年12~50日)	14.8%	6 運動やスポーツを行わなかった	19.7%
		(無回答)	2.7%



全体で見ると、「週に3日以上(年151日以上)」(27.5%)が3割近くで最も高く、次いで「週に1~2日(年51~150日)」(26.0%)、「月に1~3日(年12~50日)」(14.8%)の順となっている。一方、「運動やスポーツを行わなかった」(19.7%)が2割となっている。

[過去の調査結果]



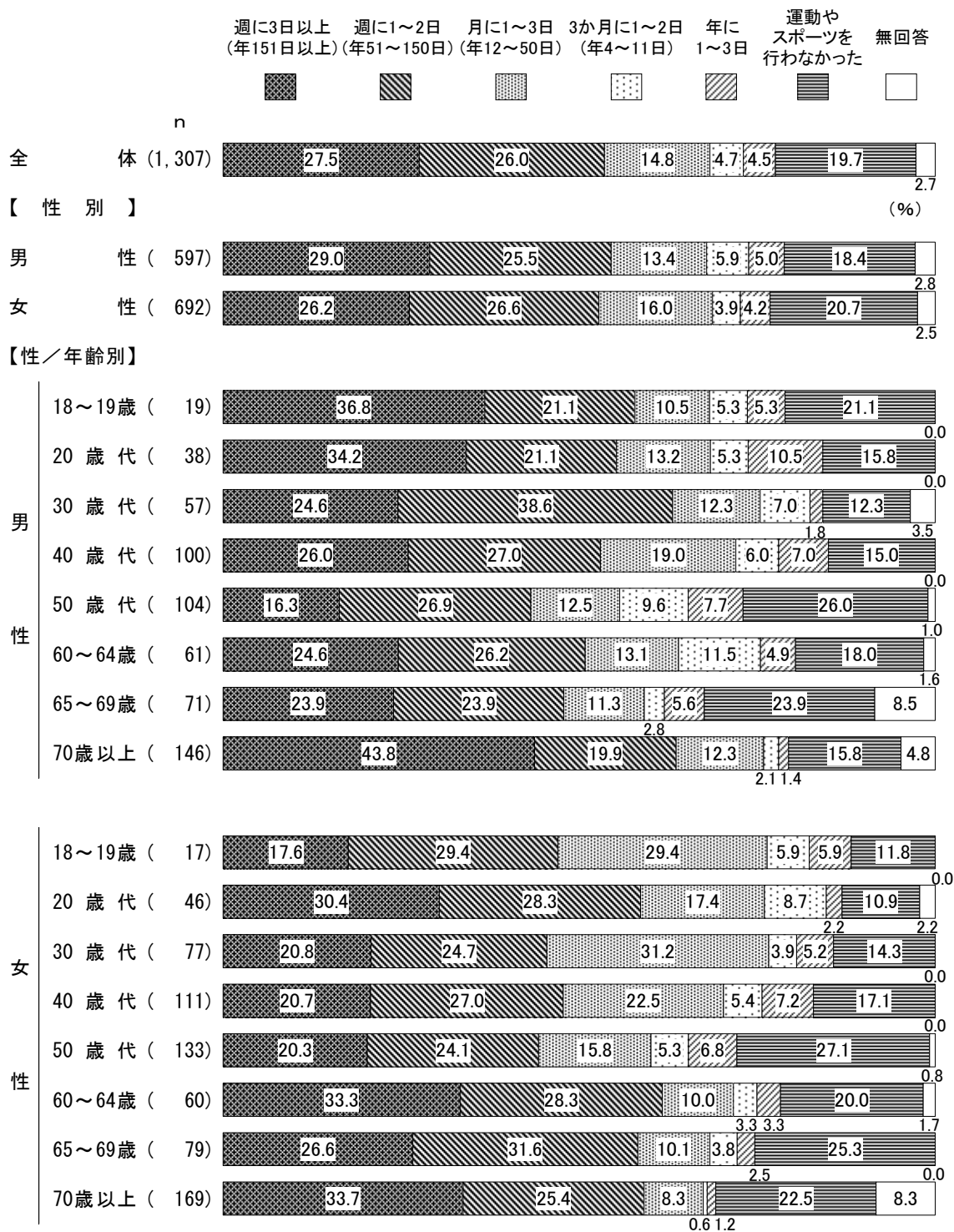
過去の調査結果と比較すると、「運動やスポーツを行わなかった」が令和元（2019）年より3.0ポイント増加している。

なお、平成30（2018）年以前の調査では、質問文中の「運動やスポーツ」の注釈（※）の文言が異なるため、比率を直接比較することができないことから、参考として示す。

（※）平成30（2018）年以前の「運動やスポーツ」の注釈は以下のとおりである。

※ 運動やスポーツには、ウォーキング（歩け歩け運動、散歩などを含む）、ジョギング、体操（ラジオ体操、職場体操、美容体操、エアロビクス、縄跳びを含む）、室内運動器具を使ってする運動、ニュースポーツ（ゲートボール、グラウンドゴルフ、インディアカなどを含む）、登山、ゴルフ、釣り、サイクリングなどを含みます。

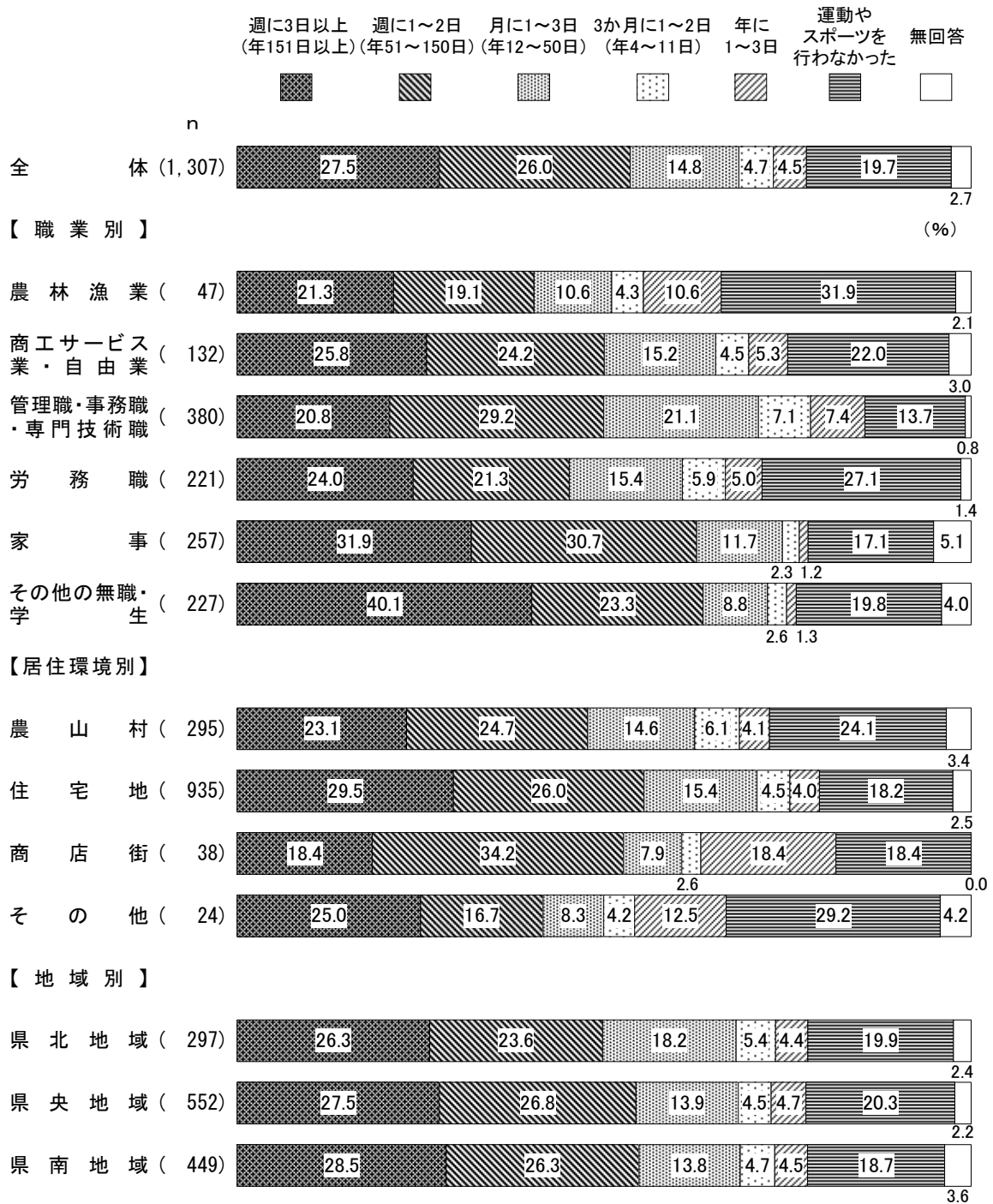
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「週に3日以上 (年151日以上)」では〈男性70歳以上〉が43.8%と高くなっている。「週に1~2日 (年51~150日)」では〈男性30歳代〉が38.6%と高くなっている。「月に1~3日 (年12~50日)」では〈女性30歳代〉が31.2%と高くなっている。「運動やスポーツを行わなかった」では〈女性50歳代〉が27.1%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、「週に3日以上（年151日以上）」では〈その他の無職・学生〉が40.1%と高くなっている。「月に1~3日（年12~50日）」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が21.1%と高くなっている。「運動やスポーツを行わなかった」では〈農林漁業〉が31.9%と高くなっている。

居住環境別でみると、「年に1~3日」では〈商店街〉が18.4%となっている。

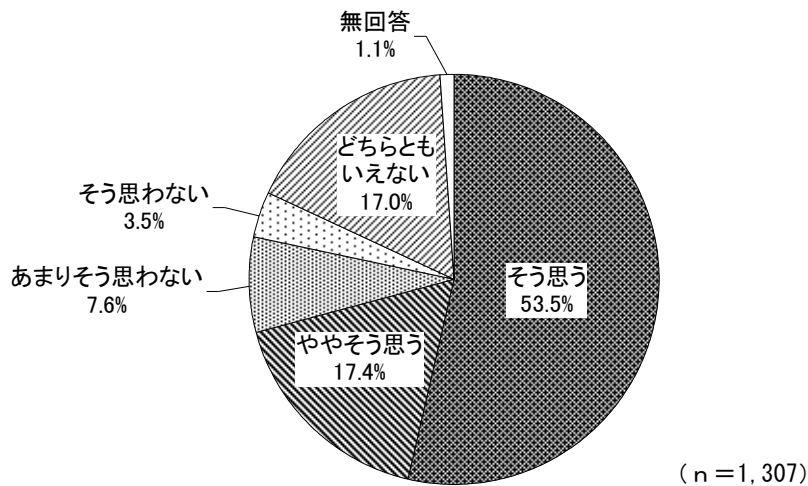
地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

### (3) 住んでいる地域について

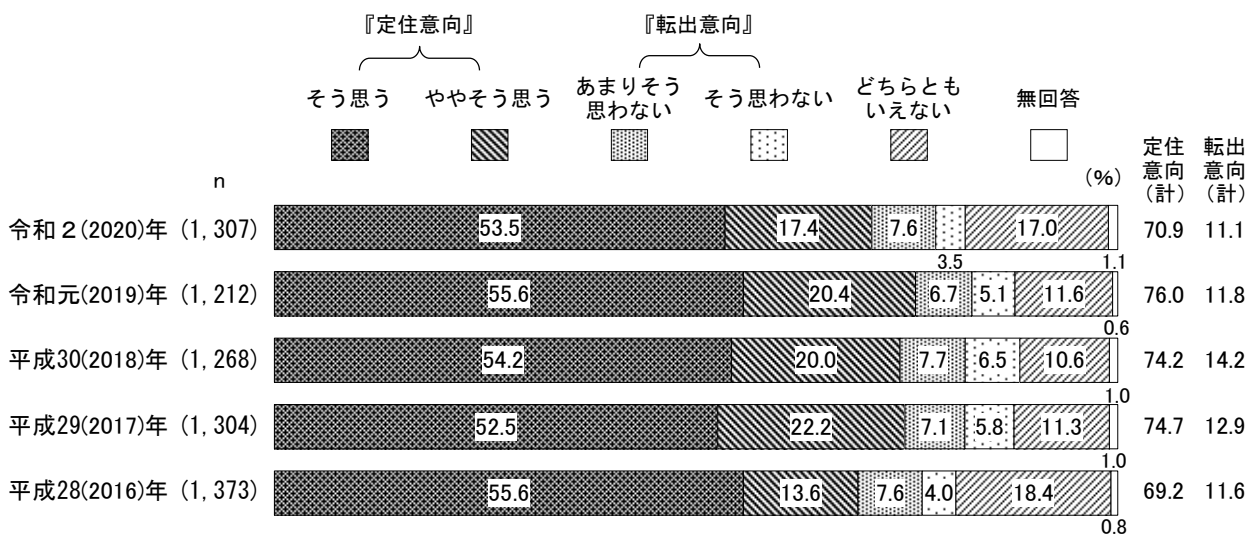
問8 あなたは、住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,307]

1	そう思う	53.5%	4	そう思わない	3.5%
2	ややそう思う	17.4	5	どちらともいえない	17.0
3	あまりそう思わない	7.6		(無回答)	1.1



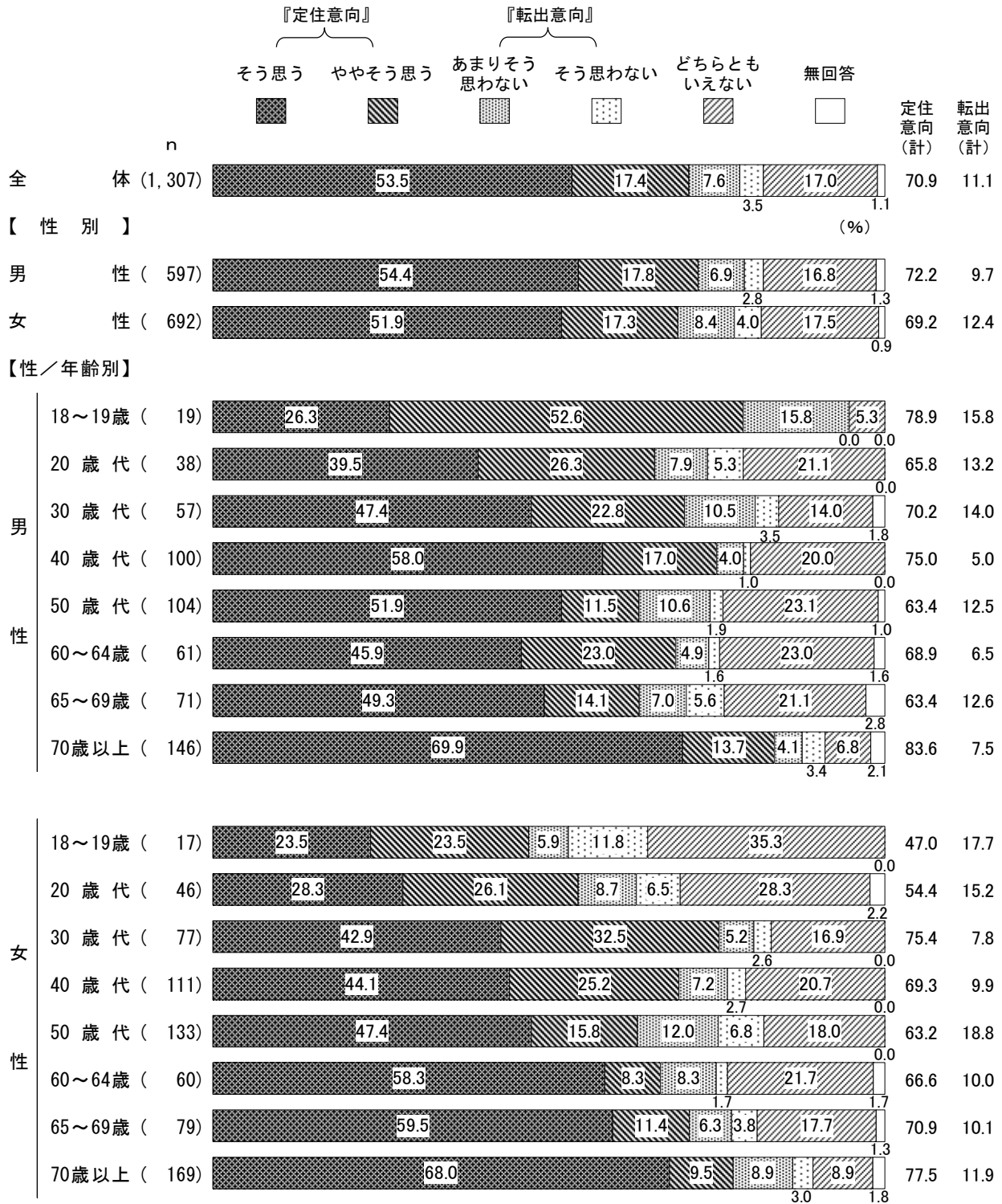
全体で見ると、「そう思う」(53.5%)と「ややそう思う」(17.4%)の2つを合わせた『定住意向』(70.9%)がほぼ7割と高くなっている。一方、「あまりそう思わない」(7.6%)と「そう思わない」(3.5%)の2つを合わせた『転出意向』(11.1%)が1割を超えている。



過去の調査結果と比較すると、『定住意向』が令和元(2019)年より5.1ポイント減少している。一方、「どちらともいえない」が令和元(2019)年より5.4ポイント増加している。



[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『定住意向』では〈男性〉(72.2%)が〈女性〉(69.2%)より3.0ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『定住意向』では〈男性70歳以上〉が83.6%と高くなっている。一方、『転出意向』では〈女性50歳代〉が18.8%となっている。



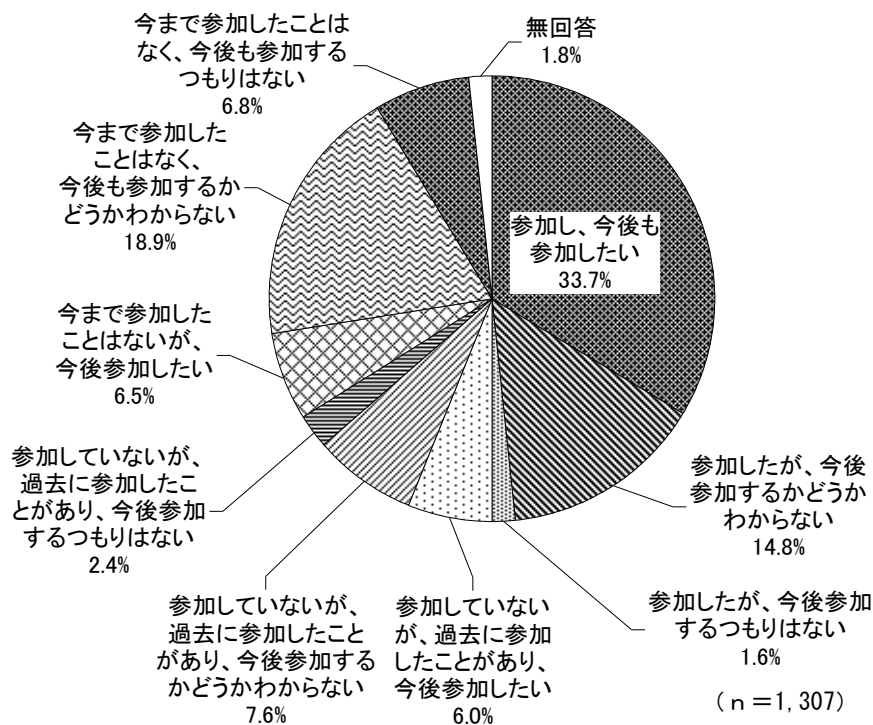
#### (4) 社会貢献活動について

問9 あなたは、この1年間に社会貢献活動(※)に参加しましたか。また、今後参加したいと思えますか。次の中から1つ選んでください。

※ 社会貢献活動とは、例えば、募金、寄附、プルタブ・エコキャップなどの物品収集、公園清掃などの活動、ボランティアやNPO(非営利活動団体)活動、コミュニティ活動、自治会、育成会などの地域活動などをいいます。

[n=1,307]

1	参加し、今後も参加したい	33.7%
2	参加したが、今後参加するかどうかわからない	14.8
3	参加したが、今後参加するつもりはない	1.6
4	参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加したい	6.0
5	参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するかどうかわからない	7.6
6	参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するつもりはない	2.4
7	今まで参加したことはないが、今後参加したい	6.5
8	今まで参加したことはなく、今後も参加するかどうかわからない	18.9
9	今まで参加したことはなく、今後も参加するつもりはない	6.8
	(無回答)	1.8

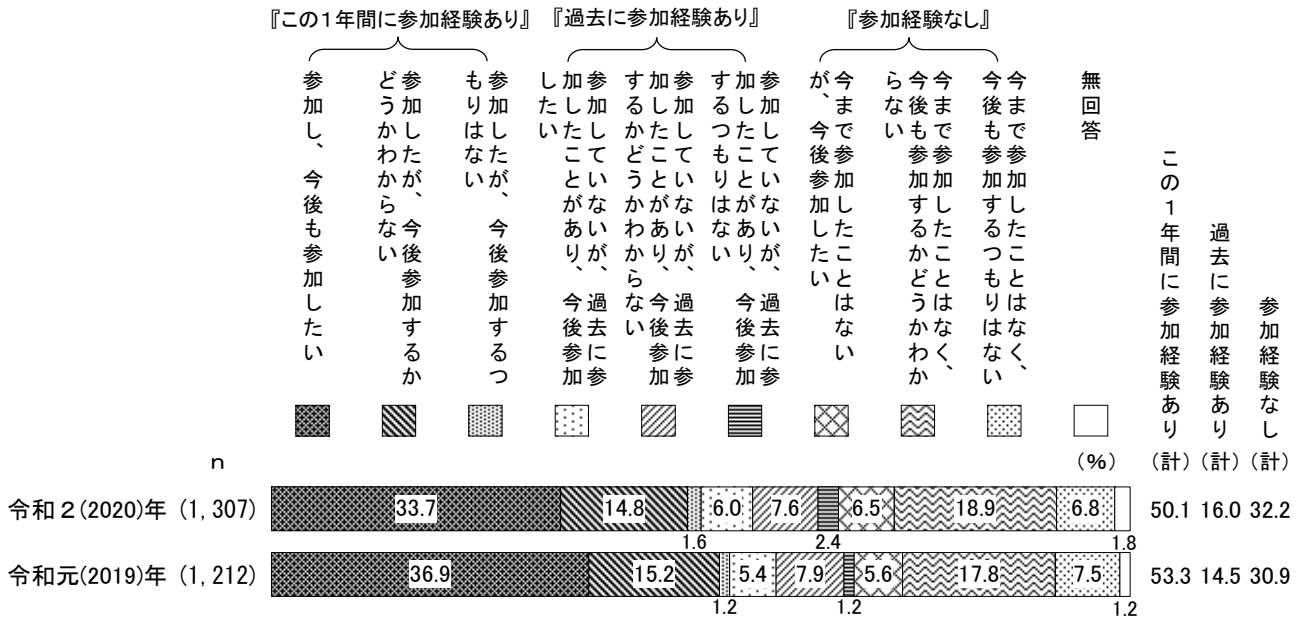


全体で見ると、「参加し、今後も参加したい」(33.7%)が3割を超えて最も高く、これと「参加したが、今後参加するかどうかわからない」(14.8%)、「参加したが、今後参加するつもりはない」(1.6%)の3つを合わせた『この1年間に参加経験あり』(50.1%)が5割となっている。

「参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加したい」(6.0%)と「参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するかどうかわからない」(7.6%)、「参加していないが、過去に参加したことがあり、今後参加するつもりはない」(2.4%)の3つを合わせた『過去に参加経験あり』(16.0%)は1割半ばとなっている。

「今まで参加したことはないが、今後参加したい」(6.5%)と「今まで参加したことはなく、今後も参加するかどうかわからない」(18.9%)、「今まで参加したことはなく、今後参加するつもりはない」(6.8%)の3つを合わせた『参加経験なし』(32.2%)は3割を超えている。

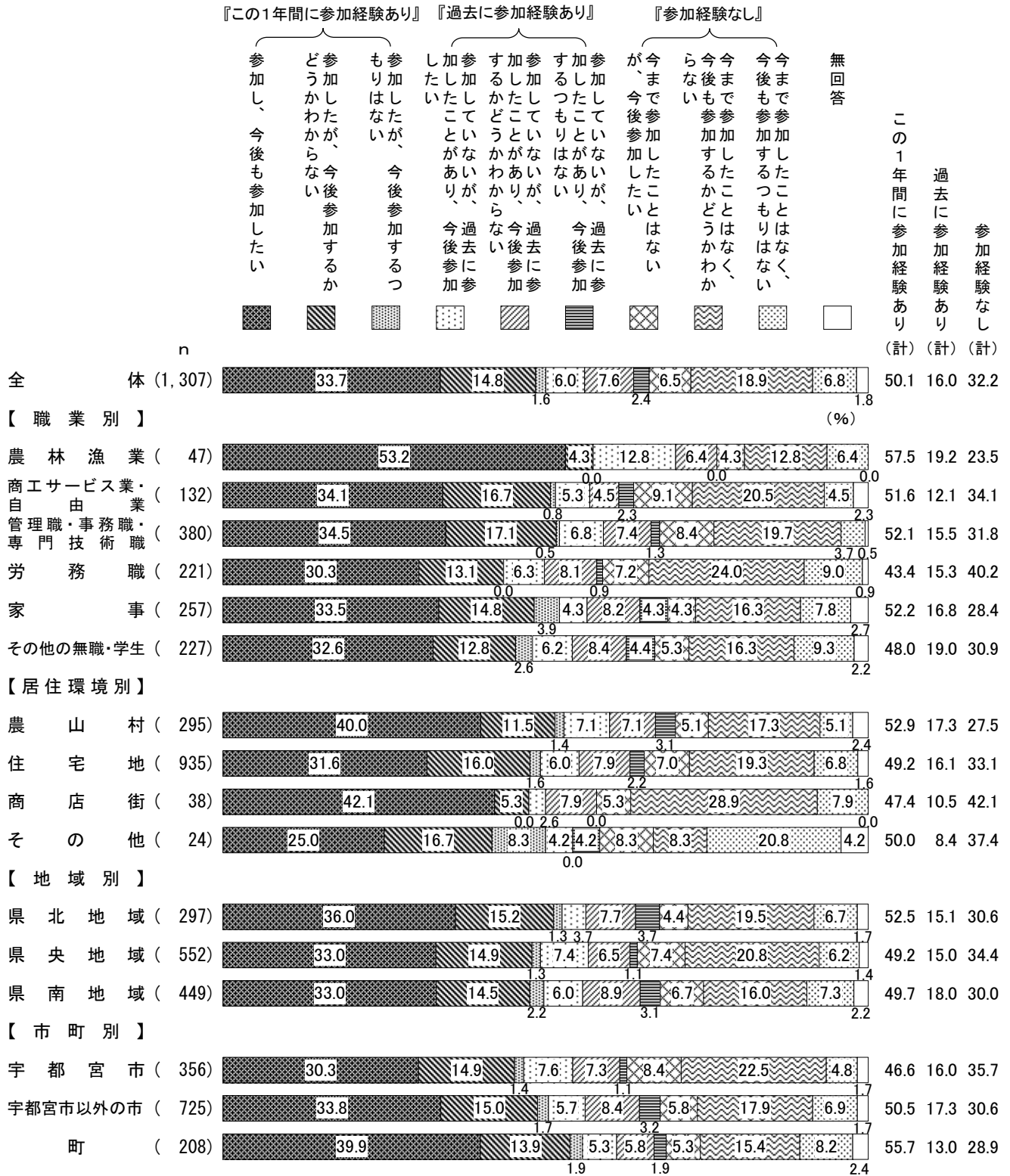
[過去の調査結果]



令和元（2019）年の調査結果と比較すると、「参加し、今後も参加したい」が令和元（2019）年より3.2ポイント減少している。



[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「参加し、今後も参加したい」では〈農林漁業〉が53.2%と高くなっている。『参加経験なし』では〈労務職〉が40.2%と高くなっている。

居住環境別でみると、「参加し、今後も参加したい」では〈商店街〉が42.1%、〈農山村〉が40.0%と高くなっている。『参加経験なし』では〈商店街〉が42.1%と高くなっている。

地域別でみると、『参加経験なし』では〈県央地域〉が34.4%と高くなっている。

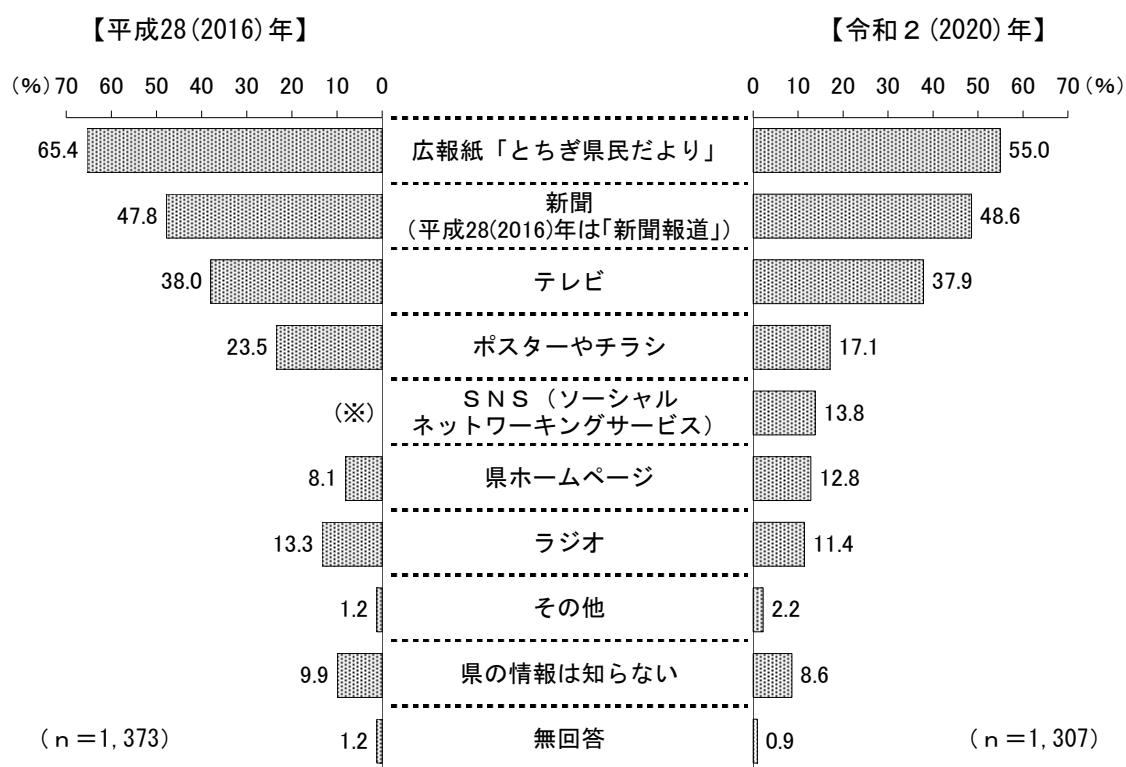
市町別でみると、『この1年間に参加経験あり』では〈町〉が55.7%と高くなっている。

## (5) 県政情報の入手方法について

問10 あなたは、県の事業や催し、案内などの情報をどのような方法でお知りになりますか。  
次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,307]

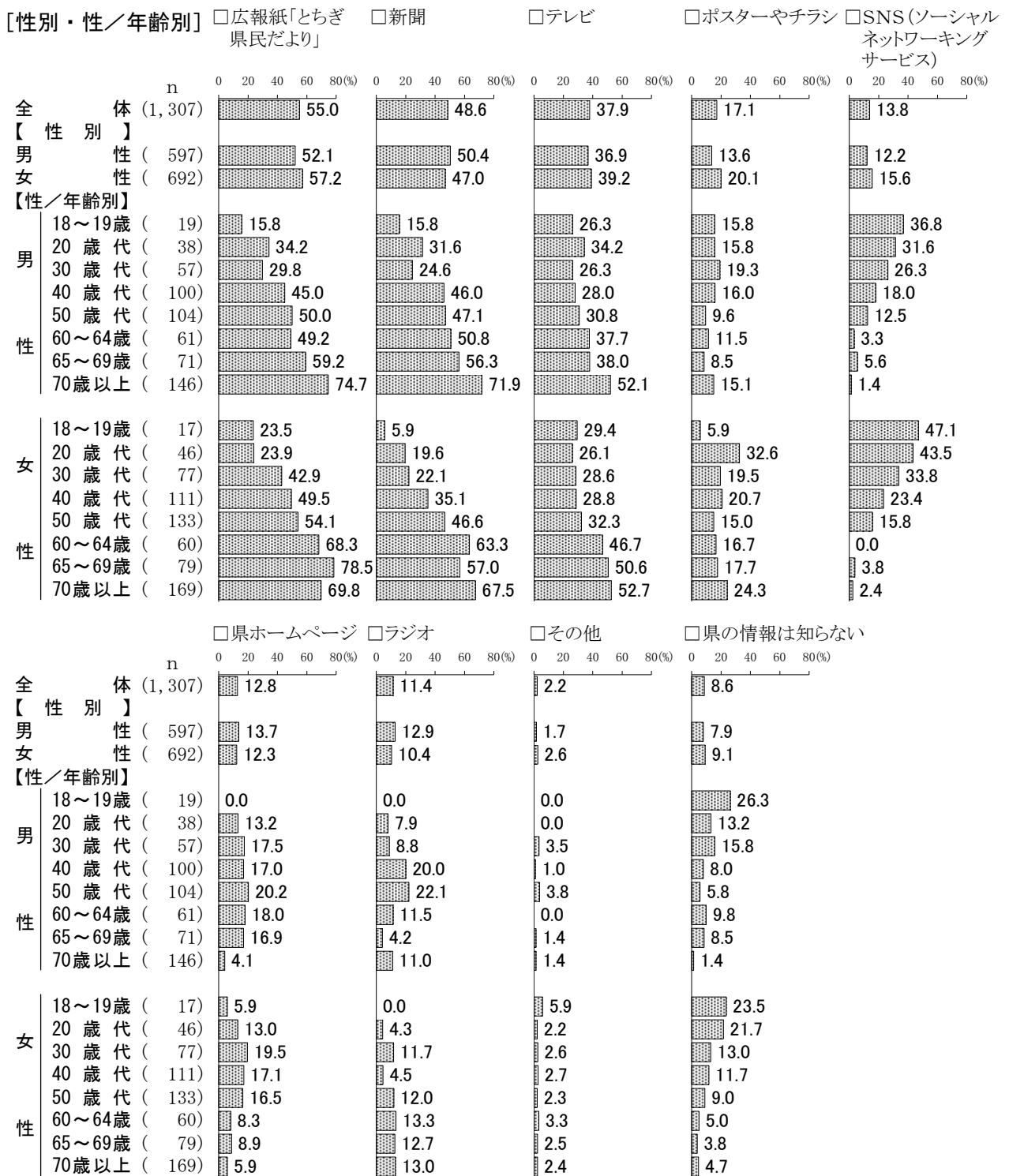
1	広報紙「とちぎ県民だより」	55.0%	6	新聞	48.6%
2	テレビ	37.9	7	ポスターやチラシ	17.1
3	ラジオ	11.4	8	その他	2.2
4	県ホームページ	12.8	9	県の情報は知らない	8.6
5	SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)	13.8		(無回答)	0.9



(※) 「SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)」は、今回調査で追加した選択肢である。

全体でみると、「広報紙『とちぎ県民だより』」(55.0%)が5割半ばで最も高く、次いで「新聞」(48.6%)、「テレビ」(37.9%)、「ポスターやチラシ」(17.1%)、「SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)」(13.8%)の順となっている。

平成28(2016)年の調査結果との比較は、一部の選択肢が変更・追加されているため参考にとどまるが、「県ホームページ」が4.7ポイント増加している。一方、「広報紙『とちぎ県民だより』」が10.4ポイント、「ポスターやチラシ」が6.4ポイント、それぞれ減少している。

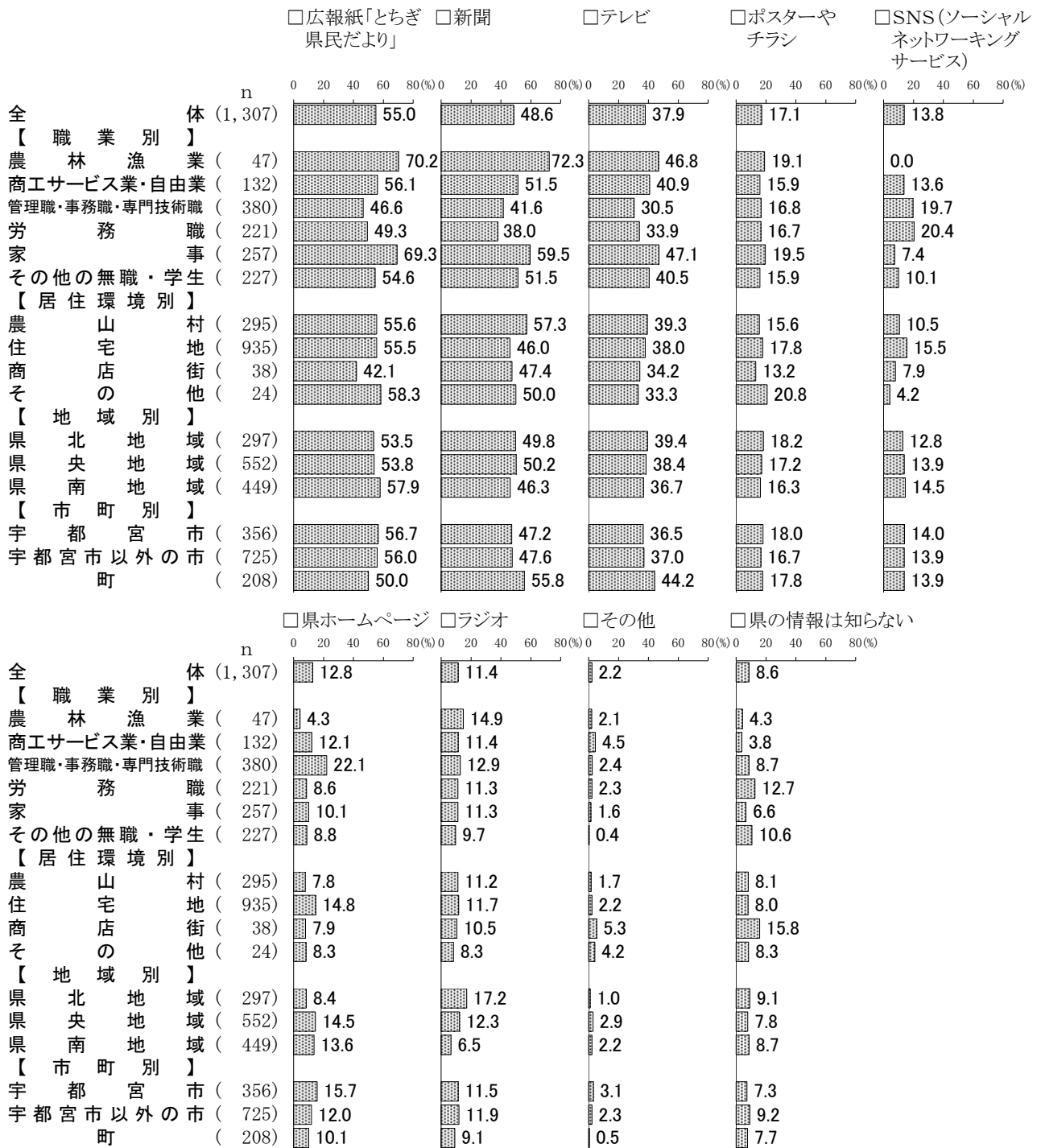


性別でみると、「ポスターやチラシ」では〈女性〉(20.1%)が〈男性〉(13.6%)より6.5ポイント高くなっている。「広報紙『とちぎ県民だより』」では〈女性〉(57.2%)が〈男性〉(52.1%)より5.1ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「広報紙『とちぎ県民だより』」では〈女性65~69歳〉が78.5%、〈男性70歳以上〉が74.7%と高くなっている。「新聞」では〈男性70歳以上〉が71.9%、〈女性70歳以上〉が67.5%と高くなっている。「テレビ」では〈女性70歳以上〉が52.7%、〈男性70歳以上〉が52.1%と高くなっている。「ポスターやチラシ」では〈女性20歳代〉が32.6%と高くなっている。「SNS(ソーシャルネットワークサービス)」では〈女性20歳代〉が43.5%、〈女性30歳代〉が33.8%、〈男性20歳代〉が31.6%と高くなっている。



[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「広報紙『とちぎ県民だより』」では〈農林漁業〉が70.2%、〈家事〉が69.3%と高くなっている。「新聞」では〈農林漁業〉が72.3%、〈家事〉が59.5%と高くなっている。「テレビ」では〈家事〉が47.1%と高くなっている。「SNS (ソーシャルネットワーキングサービス)」では〈労務職〉が20.4%と高くなっている。「県ホームページ」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が22.1%と高くなっている。

居住環境別でみると、「新聞」では〈農山村〉が57.3%と高くなっている。

地域別でみると、「ラジオ」では〈県北地域〉が17.2%となっている。

市町別でみると、「新聞」では〈町〉が55.8%と高くなっている。「テレビ」では〈町〉が44.2%と高くなっている。